

日本学術会議第一部 社会学委員会
ジェンダー・世代等の交差と包摂分科会
(第26期・第3回)
議事録要旨

日 時：2025年3月10日（月）14：00～15：15

会 場：東京大学及びオンライン会議システム併用のハイブリッド開催

出席者（五十音順、敬称略）：【対面】近藤絢子、白波瀬佐和子（委員長）、住居広士（幹事）、皆川満寿美、【オンライン】相澤美智子、姉齒暁、上野千鶴子、大沢真理（副委員長）、海妻径子、河野銀子（幹事）、木本喜美子、三時眞貴子、須田木綿子、柘植あづみ、村尾祐美子、以上、15名（対面4名、オンライン11名）/（16名）。

議 題

（１） 前回の議事録の確認・承認

- ・ 前回議事録は原案通り承認された。

（２） ジェンダー統計の取り扱いに関するヒアリング結果の共有

- ・ ジェンダー統計のワーキングより、意思の表出に向けて自治体ヒアリングを実施しつつ、ドラフトを作成中である旨の報告があった。
- ・ 前回分科会後にワーキングにWGに河野が追加されたことが報告、了承された。
※ワーキングチーム：白波瀬(代表)・相澤・近藤・三時・村尾・河野

（３） ジェンダー統計に関する意思の表出に向けた検討状況について

- ・ 今期に意思の表出をするため、4月中に「申出書」を提出すること、またその内容については役員会（委員長・副委員長・幹事）に一任することを決定した。

（４） シンポジウム開催等に関する検討状況について

- ・ 今年10月以降の遅くない時期に開催する方向でテーマを検討中である旨の報告があった。意見交換を踏まえ、引き続き、担当（大沢・皆川）が検討することとなった。

（５） その他

- ・ 勉強会的な会をもつことも検討する。

以上